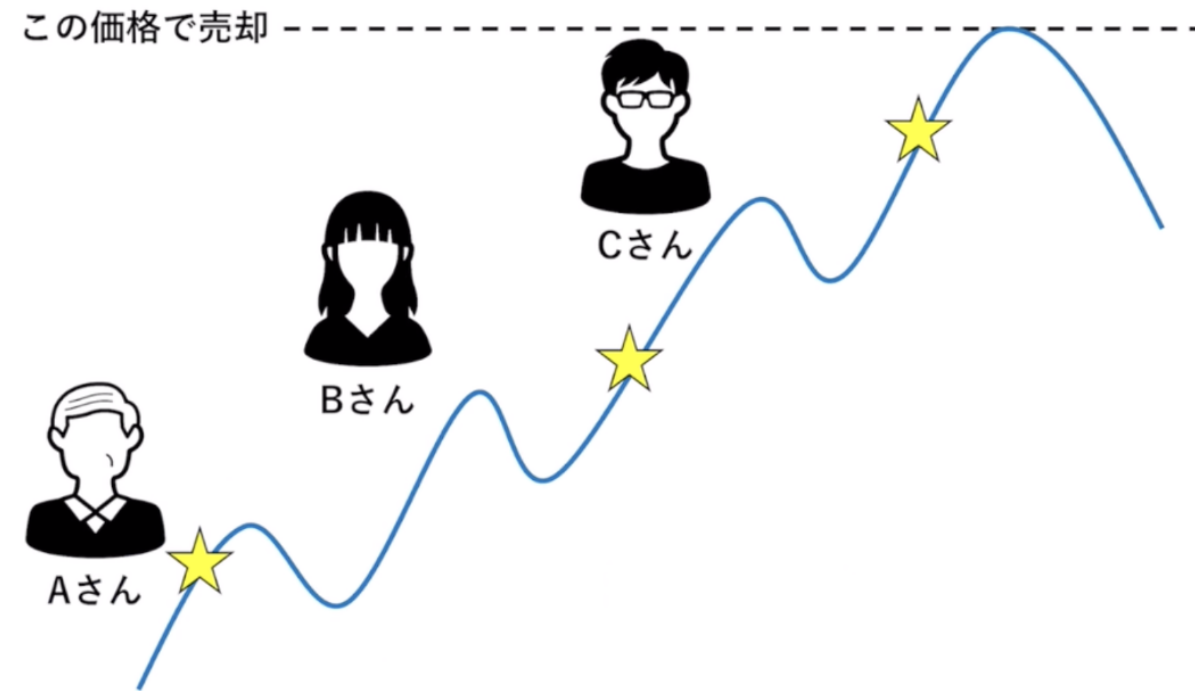


【第3編 資産運用 6-13】割安性の意味とバリュー株運用

～「割安な株価で買う」とはということか？～

(1) 値上がり益を狙うための2つのポイント



→ベンジャミン・グレアム「1ドル札を50セントで買いなさい」

①グーローズ(成長)

②バリュー(割安)

→中身を見る(価値≠価格)

cf.株価が安い

(2) 割安な株価とはどういう意味か？

(例) ニトリ 22,000 円、メルカリ株価 5,500 円、オリックス株価 1,300 円

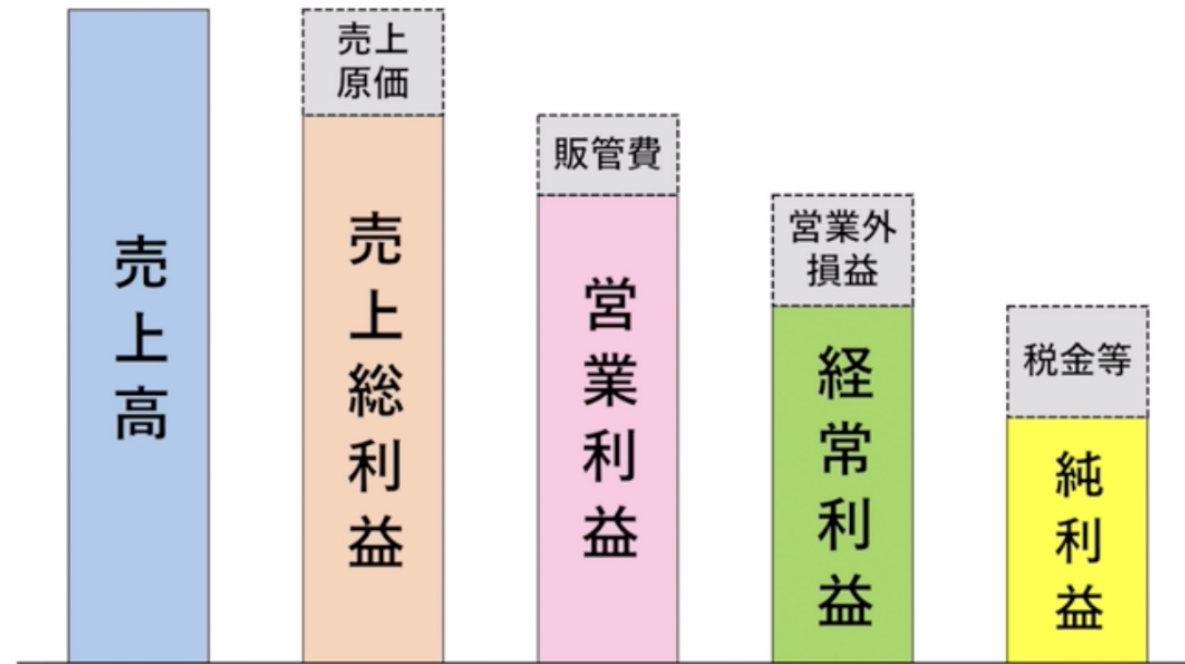
→これらの中で最も割安な株式はどれか？

Ans. わからない

→会社によって規模や業種などが全く違う...

(3) 株価と何を比較して判断するのか？

① 株価と利益を比較する



利益 > 株価が割安の判断基準

cf. 株価と現金を比較する

② 株価: 1 株あたりの数字

純利益: 会社全体の数字 (1 年間) → 純利益を 1 株あたりに置き換えて比較する

(4) 「1 株あたりの純利益」とは何か？

① 1 年間で稼いだ純利益の合計 ÷ 発行済株式総数 = 1 株あたりの純利益 (EPS)

→ EPS (Earnings Per Share)

② (例) 明治ホールディングス (2269)

→ <https://profile.yahoo.co.jp/consolidate/2269>

1 株益 479 円

株価 7,600 円 ÷ 479 円 = 15.87 倍 (PER (株価収益率) : Price Earnings Ratio)